今年度都立神代高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・生徒に主体的に「考えさせる」指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認、役割分担	・ペアワークや討論、創作、図書館での調べ学習などの授業の実施 ・記述問題や要約など「書く」ことを授業に取り入れる
地理歴史	多面的・多角的な思考を養う	・ワークやプリントを活用して基本的な知識の定着を図る。 ・科目を横断する学際的な思考力を育成する。	・ワークやプリントを活用して、歴史的事柄等を考察し、因果関係や他の事柄への影響について自身の言葉で表現する機会を多く取り入れる。
公民	考える学習活動の充実	「公共」「政治・経済」では通常プリントに加えて、ワークプリントを同時展開するなど、自身の考えを表現する機会を多く取り入れる。	自他の考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施。
数学	数学的に考える指導の充実	事象を数学的に捉え、数学的に考える指導に適した教材の開発と授業の実施	ICTの効果的な利用方法の研究とその実施
理科	論理的思考力の育成	自然や生命のしくみを理解し、得た知識を活用して論理的に説明や表現する授業展開を多く取り入れる。	・他者との意見交換を通して、考察を深める授業の実施 ・探究の過程を踏まえた授業の相互参観を実施
保健体育	豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する	・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 ・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	・生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
芸術	芸術教育を通して、豊かな感性を育み表現の能力を育成する	・幅広い芸術活動を通して社会の中の芸術や文化、多様性を学び感性を高める。 ・各生徒の感性のあり様を評し励まして自信を高める。	・生徒個人の知識や技能を高めるとともに、発表、展示、共同などを通して地域や社会との接点を模索していく ・生徒が音楽、美術、書道へ生涯に渡って主体的に触れ楽しめるよう興味関心を高める。
英語	自分の意見を表現する能力を育成する。	コミュ英の時間で読んだ文章をまとめさせるとともに、それについての意見を表現させる時間を設ける。	ペアワークやグループ活動で練習を行い、その後全体で発表する場を設ける。
家庭	生涯を見通し自立して生活する力を養う	調べ学習や授業予習が実施できるようにプリントを事前配信する。衣食住だけでなく自分の将来の生活や展望についてレポート課題に取り組みさせる。	パソコンを活用してレポート課題や調べ学習・実習を通して衣食住の知識を深め、自分の将来の生活や展望について各自で調べながら考えを深めさせる。
情報	実習と入試対策の両立	・教科書選定時に実習を多く掲載しているものを選定 ・グループ(協働学習)による探究的な実習を実施	・大学入試問題を意識した問題演習の実施し、特に情報Ⅱではその発展問題を取り扱い演習